

# 織豊政権～江戸時代 文化史

8 次のA～Cの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 織豊政権の時代には、統一政権のもとで豪壮華麗な文化が生まれた。この桃山文化を象徴するものが城郭建築で、城の内部には書院造をとり入れた居館が設けられ、壁や襖などは濃絵の障壁画で飾られた。<sup>①</sup> 絵画では、水墨画にも優れた作品<sup>②</sup>が生まれた。茶の湯も流行し、千利休が侘び茶を完成した。<sup>③</sup> また、南蛮貿易も盛んになり、南蛮文化が珍重された。<sup>④</sup>

問1 下線部①に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. この時代の城郭は平地につくられ、政治・交通などの中心となった。
- イ. この時代の天下統一の勢威を示すものに安土城・大坂城・江戸城があった。
- ウ. 戦国大名の池田輝政は天正年間に姫路城を築いた。
- エ. 伏見城の遺構といわれるものに西本願寺の飛雲閣がある。

問2 下線部②に該当する作品を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 長谷川等伯父子の「智積院襖絵楓図・桜図」
- イ. 狩野長信の「花下遊楽図屏風」
- ウ. 狩野永徳の「唐獅子図屏風」
- エ. 長谷川等伯の「松林図屏風」

問3 下線部③に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 堺の豪商の武野紹鷗のあとを受けて茶道を確立した。
- イ. 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三人のもとで茶頭をつとめた。
- ウ. 大坂城内に草庵風の茶室として妙喜庵待庵をつくった。
- エ. 京都の北野神社で大茶会を催し、身分・貧富に関係なく民衆を参加させた。

問4 下線部④に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 宣教師によって西洋の天文学・地理学・医学などが伝えられた。
- イ. 宣教師ヴァリニャーニが活字印刷機をもたらし、慶長勅版がつくられた。
- ウ. キリシタン版の中には、『天草版平家物語』『天草版伊曾保物語』があった。
- エ. 日本人絵師の中には、南蛮人の風俗などを南蛮屏風に描く者もいた。

B 江戸幕府の5代将軍徳川綱吉の時代には、新しい都市商人が台頭し、元禄文化と呼ばれる多彩な文化が生まれた。町人文芸には、井原西鶴・松尾芭蕉・近松門左衛門<sup>⑤</sup>が現れ、歌舞伎<sup>⑥</sup>では、和事の坂田藤十郎、荒事の初代市川団十郎が名優として名をはせた。<sup>⑦</sup> 学問では、儒学が政治と結びついて盛んになった。<sup>⑧</sup>

問5 下線部⑤に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 談林派の俳諧を発展させて、浮世草子を創作した。
- イ. 好色物を得意とし、代表作に『好色五人男』『好色一代女』などがある。
- ウ. 『日本永代蔵』には、三井など実在人物をモデルとした話も含まれている。
- エ. 世話物と呼ばれる作品には『心中天網島』『冥途の飛脚』などがある。

問6 下線部⑥に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 江戸に生まれた彼は、江戸深川の芭蕉庵を生涯の棲家とした。
- イ. 奇抜な趣向をねらう談林派の俳諧に対して、さび・しおりの蕉風俳諧を確立した。
- ウ. 彼の俳諧紀行文として『奥の細道』『笈の小文』が有名である。
- エ. 彼と一門の句集である『猿蓑』は、俳諧の古今集ともいわれている。

問7 下線部⑦に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 女歌舞伎・若衆歌舞伎を経て、元禄時代の歌舞伎は野郎歌舞伎として発展した。
- イ. 江戸歌舞伎の女形芸を大成したのは芳沢あやめであった。
- ウ. 坂田藤十郎は上方歌舞伎の色男役として、近松門左衛門の脚本を多く演じた。
- エ. 初代市川团十郎は江戸歌舞伎の名優で、勇猛な立ち回りを得意とした。

問8 下線部⑧に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 朱子学は封建社会を維持する教学として幕府や諸藩に重んじられた。
- イ. 6代将軍徳川家宣は林家の私塾を江戸の湯島に移し、聖堂学問所として整備した。
- ウ. 南学の貝原益軒は神道を儒教流に解釈して、垂加神道を説いた。
- エ. 陽明学者の中江藤樹は著書『大学或問』で幕政を批判したため、幽閉された。

C 江戸時代後期には、木版印刷術が進歩し、洒落本・黄表紙が江戸を中心に大いに売り出された。それらが幕政改革で取り締まられると、滑稽本・人情本・読本が盛んになった。また、松尾芭蕉の死後、停滞していた俳諧は、与謝蕪村によって復興された。

問9 下線部⑨の作者と作品の組合せとして正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 大田南畝——『仕懸文庫』
- イ. 山東京伝——『修紫田舎源氏』
- ウ. 鈴木牧之——『北越雪譜』
- エ. 恋川春町——『金々先生栄花夢』

問10 下線部⑩に関して、江戸っ子の弥次郎兵衛と喜多八の東海道珍道中記を書いた作者は誰か。漢字で記せ。

問11 下線部⑪に関して、大坂の読本の作者を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 上田秋成
- イ. 竹田出雲
- ウ. 為永春水
- エ. 曲亭馬琴

問12 下線部⑫と「十便十宜図」を合作した文人画家を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 円山応挙
- イ. 渡辺華山
- ウ. 谷文晁
- エ. 池大雅